

まちづくりスポット大津

2020年度事業実績報告書

2020年度当初から新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、思うように事業を実施できない日々が続いたが、そのような中で、2020年7月には法人設立総会を開催し、10月に「特定非営利活動法人まちづくりスポット大津」を設立することができた。

事業の柱としていたまちづくり支援のための講座や市民活動・NPO・起業等の担い手育成、相談事業等については随時計画を見直しながら実施し、新たな事業として立ち上げ支援に関わる助成事業に取り組んだ。地域団体やランチ大津京内の入居テナント等と連携して行う企画も実施することで、商業施設内にある中間支援組織の強みをいかした取り組みを行うことができた。

1. 市民活動・NPO・コミュニティ・起業等まちづくり支援のための講座やイベントの開催に関わる事業

(1) 地域の人が気軽に参加できる講座やイベントの開催

まちづくりスポット大津の認知を広め、利用いただける方の動向把握と活動サポートを目的に講座やイベントを実施した。定期開催の事業として、木組みの積み木クミノに触れる企画を実施、出入り自由で当日参加可能でふらっと立ち寄ることのできる場として実施し、来館した参加者同士やスタッフとのコミュニケーション促進を図った。また、本を通じた常設企画の実施や防災をテーマにした写真展とトークイベントを開催した。

1周年記念事業では、NPOとの連携を図り、子どもを対象にしたワークショップを実施した。記念講演会では、市民が楽しくボランティアや市民活動に参画する秘訣について講師から話を聞く機会を設けた。ランチ大津京管理事務所や入居テナントと連携して行った企画では、大津市の後援を得て地域の小学校に配布したこともあり、近隣に住む親子からの申し込みが多数あった。

開催日	タイトル	講師	参加費
2020年6月4日から月2回程度、全11回開催	クミノで遊ぼう！	なし	100円
参加者数 87名	開催概要 大人も子どもも夢中になって遊べる積み木、クミノに触れる企画を実施。親子連れでふらっと立ち寄り、自由に出入りできる場を設けた。		
まちづくりスポット大津で常設		まちスポ玉手箱	なし
冊数 提供された本：74 もらわれた本：60	開催概要 自分が大切にしていた本を、次に読みたい誰かに贈る。まちづくりスポットに持参いただいた本をラッピングし、一言メッセージを添えて本棚に並べ、自由に持ち帰りいただけるようにした。持ち帰った方は提供いただける本があれば持ってきていただくようお願いし、本を通じたコミュニケーションができるよう工夫した。		

開催日		タイトル	講師	参加費
2020年9月22日(火)		絵と写真で感じる「たいせつなもの展」&トークイベント	講師：江藤沙織さん(南草津マンション防災委員会)、永井宏実さん	無料
参加者数	41名	開催概要	南草津マンション防災委員会「たいせつなもの展」と、代表の江藤さんの「自助コミュニティ」のお話、江藤さんの影響を受けて、自ら奮起した大津のママ、永井さんのお話を聞いて、突然非日常がおとずれた時に、日ごろから「助けて」といえる人間関係や、防災について考える機会とする。参加者も、今一度大切なものを考えたり、写真を提供したことでそのことを意識できるようになった、などの声があった。	
2020年11月28日(土)		一周年記念事業 伝承遊び・ネイチャーゲーム	講師：辻田良雄さん(滋賀県シェアリングネイチャー協会)、三宅栄治さん(将棋を孫に伝える会)	ネイチャーゲーム水鉄砲 300円
参加者数	140名	開催概要	10時に開場して最初に賑わったのは、店舗前にて開催したチョーク遊び。カラフルなチョークを準備していたこともあり、小さい子どもから大きな子どもまで思い思いに自由に想像して描いていた。大津市社会福祉協議会から借りた大きな百人一首での坊主めくりも大いに盛り上がった。 将棋は、感染対策のため芝生広場に机といすを設置して実施した。知育ゲームは興味のある子どもが座って熱心に遊んでいた。ネイチャーゲームは、午前午後ともに13名の参加であった(定員15名)都市型公園ではあるが、自然に親しみたい子どもや保護者が参加してくれたように思う。	
2020年11月29日(日)		一周年記念講演 市民活動はじめの一步 わたしの“参加”でつくるまちづくり	講師：早瀬昇さん (大阪ボランティア協会理事長)	無料
参加者数	23名	開催概要	まちスポ大津がオープンしてちょうど1年が経ち、あらためて中間支援組織であるまちスポ大津ができることをメッセージとして伝える意味も含めて講演会を企画。市民が楽しくボランティアや市民活動に参画する秘訣や市民活動団体スタッフが疲弊することなく元気に団体運営をしていくためのヒントについて話を伺った。当日はNPO・市民活動団体のスタッフや中間支援組織のスタッフ、行政職員や学生等の参加があった。	
2021年3月26日(金)		あつまれ! ブランチキッズ探検隊	協力店舗：マックスバリュ、Flower produce ichica、GU、クラウンカー&ケバブ、ロンフーダイニング、ブランチ大津京管理事務所 共催：ブランチ大津京、監修：子どもミュージアムをつくる会	300円

参加者数	開催概要	<p>ランチ大津京に入っている店舗で、「その店舗ならではの子ども目線での体験」をする機会を子ども達にむけて提供した。職業体験とは異なり、子どもの目線で見えるもの、大人の目線から見えているものを一方的ではなくお互いに発見することを大切にして、各店舗独自の魅力あるプログラムを実施した。</p> <p>参加者にとっては店舗を知ることにより、「ここで働いてみたい！また来店したい！」という動機付けになり、また子どもが社会参加できる体験型イベントを開催してほしいという声が多くあった。</p>
63名		

■クミノで遊ぼう！（2020年6月から全11回開催）



木組みの積み木クミノで遊ぶ親子の様子



■まちスポ玉手箱



入り口すぐのコミュニティスペースに設置。本のラッピングワークショップも開催した

■絵と写真で感じる「たいせつなもの展」&トークイベント（2020年9月22日）



江藤さんと永井さんのお話と「たいせつなもの展」の様子

■一周年記念事業 伝承遊び・ネイチャーゲーム (2020年11月28日)



ボードゲームに夢中になる子どもたち



巨大な百人一首で坊主捲りをして遊ぶ参加者



ランチ大津京内で行ったネイチャーゲームの様子



チョークアートで自由に絵を描く参加者



親子で竹製水鉄砲製作中



自分で作った竹製水鉄砲で遊ぶ親子

■一周年記念講演 市民活動はじめての一步 わたしの“参加”でつくるまちづくり

(2020年11月29日)



■あつまれ！ランチキッズ探検隊（2021年3月26日）



参加



ファッションコーディネートやフラワーアレンジメント、中華鍋振りなどテナント内で様々な体験をする参加者。



（2）社会課題、地域課題解決のために必要な講座やイベント

何かしたいと思っても、「初めの一步の踏み出し方がわからない」という声を受け、イベント主催のノウハウを提供する講座を実施した。初めの一步の踏み出し方がわかることで、参加者が自分の思いを形にし、ハッシュタグシェアスペースを用いてイベントを実施するなど、貸館利用の促進にもつながっている。なお当日は、ランチ大津京内の飲食店ロンフードダイニングのお弁当を提供し、テナント連携を図った。

開催日	タイトル	講師	参加費
2020年9月9日(水)	まずやってみる！イベント主催きほんのき講座	講師：馬場環、白井恭子、荒堀順子（まちづくりスポット大津スタッフ）	3000円
参加者数	開催概要	やってみたいを実現するためのハッシュタグ大津京。企画のつくり方を講座形式でレクチャーする。また秋にはまちスポの助成金もあるので、イベントを実行に移すときに使える助成金の話をする。「他の方の企画の話をして、励みになった。」「日々の集客に活かそうな内容だった」「ワークがたのしかった。同じメンバーで集まって、企画をつくるワークをしたい。」と具体的に行動に移していこうという思いのある参加者が多くみられた。	
7名			

■まずはやってみる！イベント主催きほんのき講座（2020年9月9日）



前半は講師の話聞き、イベントづくりでおさえるべきことをインプット。



後半は、自身のアイデアを書き出し、講師や他の参加者と意見交換をする時間を持った。

2. 市民活動・NPO・コミュニティ・起業等まちづくりの担い手を育成する人育ちに関わる事業

(1) 活動の見つけ方や活動のはじめの一步に関わる講座

まちづくりスポット大津では、地域コミュニティの持続性を高めるため、まちづくりを担う人材育成に取り組んでいる。講座では“場”づくりをキーワードに、活動を一からつくりあげ、実践を重ねておられる講師を招き、活動を始めたきっかけや原動力、今後の挑戦について3回に渡り話を伺った。講座を通して参加者が活動をはじめのきっかけと視点を得たり、すでに課題と向き合い行動している団体にとっては、次の一手につながるヒントを発見する場を提供した。

開催日	タイトル	講師	参加費
2021年2月20日(土)	実践者に聞く！“場”づくりのイロハ① 問題意識を行動につなげる～比良里山物語、そしてこの先へ～	講師：三浦美香さん (一般社団法人 比良里山クラブ代表理事)	1,000円

参加者数	開催概要	比良里山クラブ 18 年のあゆみとして、里山で始まった活動から比良ペリラの商品化、そしてこれからコミットしていかれるひら制作所（サロン活動）のお話を伺った。活動内容は変化しつつも、地域に拠点を置き、地域と一緒に考え、共に成果をあげ、わかりやすく伝えていこうとされているところに、活動のぶれない軸を感じる内容であった。	
9 名			
2021 年 3 月 6 日（土）	実践者に聞く！“場”づくりのイロハ② 私の困ったはママ（みんな）の困った！～声を拾う多様な事業展開～	講師：押栗泰代さん （認定 NPO 法人 マイママ・セラピー理事長/ナーシングクリエイト（株）代表取締役）	1000 円
参加者数	開催概要	“お母さんを守りたい”という思いから、開業保健師として認定 NPO 法人マイママ・セラピーとナーシングクリエイト（株）の両輪で事業を展開されている押栗さんの話を伺った。事業をはじめめるきっかけとなった母親支援から女性のライフステージに関わる支援へ変化しながらも、“今、ここに居るこの人をケアしたい”という思いが伝わる内容であった。思いをカタチにしながら事業展開するため大切なこと、0 から 1 を創るための歩みとこれからの担い手育成についての話は、“ここにきてよかったと思える場づくり”につながっているように感じた。	
6 名			
2021 年 3 月 13 日（土）	実践者に聞く！“場”づくりのイロハ③ 居場所づくり活動のこれから ～子供の居場所づくり、 こうやって歩いてきて、 こうやって歩いていく～	講師：幸重忠孝さん （NPO 法人 こどもソーシャルワークセンター理事長）	1000 円
参加者数	開催概要	学生時代の経験から大津市に拠点を構えてこどもソーシャルワークセンターを開所されるまでの歩みについて伺った。居場所づくり活動でのボランティアとの関わり、地域や関係者（応援団）の巻き込み方で実践してこられたことなどについてもエピソードを交えて話があった。今後の展開として、共に子どもの居場所づくり活動に取り組む団体の活動を広げるための仕組みづくりや関係機関への働きかけの必要性、子どもの SOS をを見つけるためのつながりづくりについてなど次の一手の話もあり、実践につながる学びを得る時間となった。	
8 名			

■実践者に聞く！“場”づくりのイロハ（2021年2月20日、3月6日、3月13日）





全3回にわたり講師に話を伺った後、参加者同士で課題を共有したり自分たちの活動について意見交換を行った。

(2) 団体や活動に関わる人へのスキルアップ講座の実施

市民活動等に関わる人や個人事業主、上記の講座受講者を対象に、ビジネスモデルキャンパスモデルを用いて事業を具体化する手法について学ぶ講座を開催した。また、ツール活用によるアクセス解析方法を学ぶ講座を実施した。

開催日		タイトル	講師	参加費
2020年7月6日(月)		グーグルアナリティクスを活用したアクセス解析から次の事業を考える	講師：中園陽二さん (株式会社晴々屋)	1000円
参加者数	9名	講師の中園さんからグーグルアナリティクスの基礎(管理画面の見方や用語の解説)についてお話いただいた後、応用編としてデータ分析のポイントやその他に使えるツールの紹介をしていただいた。また、参加者のウェブサイトケーススタディとして取り上げ、中園さんから良い所や改善点などについてコメントをいただいた。		
開催概要				
2020年10月30日(金)		A3一枚で事業内容が伝わる！ビジネスモデルキャンバス作成講座	講師：中村誠さん (公財 滋賀県産業支援プラザ創業支援課)	無料
参加者数	16名	公益財団法人滋賀県産業支援プラザとの連携の企画。創業支援課の中村誠氏(インキュベーションマネージャー)から、ビジネスや活動を始める際に有効なフレームワークであるビジネスモデルキャンバスの説明を聞いて、実際に作成してみる講座。当日は、起業をしている人10名、起業を考えている人3名、起業していない人(会社員や団体職員)3名の受講があった。自分の事業や抱えているプロジェクトについて、整理することができたという意見が多かった。次に開催してほしい内容のリサーチもできた。		
開催概要				

■グーグルアナリティクスを活用したアクセス解析から次の事業を考える(2021年7月6日)

■A3一枚で事業内容が伝わる！ビジネスモデルキャンバス作成講座(2020年10月30日)



※特定非営利活動法人まちづくりスポット大津実施事業

(3) 立ち上げ支援に関わる助成金事業

まちづくりスポット大津のシェアスペースやランチ大津京を利用しながら、「地域で暮らす人の心地よい居場所をつくる活動」、「多様な人の共感・参加を促す活動」をする団体・個人を応援することを目的に、“彩りはぐくむ”まちづくりスポット大津助成金事業を実施した。

【2020年度助成金採択団体】6団体 助成金額合計：284,000円

団体名・屋号	申請事業名	事業概要	金額
Athlete Eats	アスリートフード・デリバリー事業	アスリートフードの認知を拡大していくために、アスリートフードをとることのメリットを知ってもらうためのセミナーを実施。	4万
からふるウッド	からふるウッド～木でできたもの集めました～	木製品の心地よさを暮らしに取り入れる大切さを感じてもらうために、ワークショップや木製品の販売イベントを実施。	5万
asobi to uta	あそんでわらってつながって	現役男性保育士が、パネルシアターや遊び歌、絵本などとおして子どもも大人も楽しめるイベントを開催。	4.4万
PukupukuihanA	楽育にこにこ子育て～子育ては工夫次第でたのしくなるよ！～	「楽育」というメソッドを使ったセミナーを継続的に開催し、「子育てが楽しい！」と思えるような地域を目指す。	5万
cotomo	あるがママfes vol.2～ママだって、やればできる！を表現するフェス～	アクティビティ・マルシェエリア・キッズ&クリエイティブ・ステージ・ママカフェの5つの構成で、ママを中心に企画・運営・参加する「やればできるを表現するフェスvol.2」を開催。	5万
自然保育 ころがるリスの森	声と言葉の読み聞かせ講座	絵本の読み聞かせが苦手なパパママが、毎日の絵本の読み聞かせが楽しくなるような内容の講座を、専門家を招いて開催。	5万

3. 市民活動・NPO・コミュニティの運営や起業等に関わる相談、コンサルティング

(1) 相談対応

市民活動や起業に関わる相談を行った。相談の多くはシェアスペースの利用についてだったが、法人設立の相談やこれから起業していくにあたっての活動のはじめかたの相談もあった。

■まちづくりスポット大津 相談対応件数推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
2019								0	5	13	8	10	36
2020	4	8	14	7	10	6	10	11	7	4	13	12	106

(2) コーディネート対応

個人の思いをかたちにするため、次の一步につながるアドバイスや連携機関へのコーディネートを行った。

【相談対応の事例】	
1	フラッグデザイナーの方から、当年度最後を迎えるスポーツイベントで、これまでの感謝を含めてカタチになるもので地域住民参加型の応援ができないか相談を受ける。 主催団体のひとつ大津市関係各課をスタッフと相談者が一緒にまわり、市と協力・連携し進めることになった。
2	これまでの経験をいかして出張サロンを始めたいと思っているが、どこからはじめたらよいかわからないので、講座の始め方、チラシの作り方、集客について教えてほしいという相談があった。 どのような事業をしていきたいかヒアリングし、まずは活動整理と事業の道筋をたてる手伝いを行った。その後、まず一步目の講座開催に向けてチラシ作りのアドバイス、集客に向けてのPR協力等、はじめの一步を踏み出せるよう寄り添い、現在はシェアスペースを使い定期的にサロンを実施している。

4. さまざまな団体や個人が交流でき、ネットワーキングを広げるための事業

コロナ禍で外出の機会が少なくなった子どもたちを対象に、まちづくりスポット大津へ足を運び、楽しい時間を過ごしてもらうことを目的として、地域の団体と連携し遊びの場を提供した。連携団体は普段の活動で行われているワークショップを依頼し、広報や集客はまちづくりスポット大津が担った。ランチ大津京の夜を盛り上げる企画（大和リース主催）では、子育て世代の親が参加できる企画として館内で購入したご飯を持ち寄りテーマを設けて話す場を持った。

また、一周年事業と合わせフードドライブ事業を行った。当日は、買い物に来た方やチラシや掲示物を見た方から食品寄付があった。普段ハッシュタグ大津京貸会議室の利用やパンフレットの配架等で関わりのある団体と連携企画としては、スタッフが自身の経験や活動を報告、情報交換を行った。

開催日	タイトル	講師	参加費
2020年8月10日（土）	まちスポキッズワークショップ	連携団体：れもん会社（社会福祉法人湘南学園障害福祉サービス事業所）、日本けん玉協会滋賀支部	100円～300円
参加者数	開催概要	れもん会社の箸置きづくりと端材を使ったエコクラフトづくりワークショップ、日本けん玉協会滋賀支部のけん玉体験と検定、子ども達のけん玉パフォーマンスを行った。午前中からそれぞれのブースともに親子連れでにぎわっていた。	
73名			
2020年9月18日（金）	これってどうなん？ワーキングマザー月夜のお話会	BRANCHING（大和リース事業）	無料
参加者数	開催概要		

5名		ブランチ大津京の夜を盛り上げるためのイベントとして参加。ブランチ内のレストランでテイクアウトしたものをご持参いただき、無料で開催。普段話せないことが話せた、楽しかった、などの声があった。保育園、幼稚園の話、働き方の話、いろんなママの情報にふれることができた。		
2020年11月28日(土)	まちスポフードドライブ	共催団体：大津市社会福祉協議会	なし	
参加者数	18名	開催概要 家庭で余っている食品をまちスポに持参、寄付いただき、集まった食品を大津市社協より、食品を必要とする一人親世帯に届けた。一般の方10名、まちスポスタッフ8名より食品、日用品合計112点を寄付いただいた。当日までにチラシやSNS、新聞社、ブランチHPや館内回覧等で告知した。また当日は一周年事業もあり参加者にも声をかけ、より多くの方にフードドライブ活動を周知いただけるようにした。短期間の告知であったにもかかわらず多くの食品が集まり、また関心のある方の声も聞いたので、今後も何らかの形で実施できるような後押しをしたい。		
18名				
月日	タイトル	講師	参加費	
2021年1月25日(月)	ママパスポートのつくり方	共催団体： 一般社団法人ママパスポートコミュニティ	1,000円	
参加者数	10名	開催概要 滋賀県の子育て関連拠点の関係者をゲストスピーカーにして子育て状況の共有をするとともに、ママパスポートを作成したい人の発掘をするもので、大津編として、ハッシュタグ大津京で開催された。スタッフが、子育て支援をしていたときの状況や活動がどのように今につながっているかを事例報告をした。子育て期に何か少しでも始めておくことで、社会とのつながりができ、子育てが落ち着いたところに自分自身の強みなどがわかり、就労するにせよ、自身で活動をしていくときに動きやすいといった話をした。		
10名				

■まちスポキッズワークショップ (2020年8月10日)



■ワーキングマザー月夜のお話会 (2020年9月18日)



■まちスポフードドライブ (2020年11月28日)



5. 市民活動・NPO・コミュニティ・起業等まちづくりに関わる情報収集、発信

(1) ホームページサイトの改定・情報発信

まちづくりスポット大津のホームページに「会員・寄付募集」「リンク集（全国まちづくりスポットの情報）」を追加した。また、団体紹介パンフレットをより見やすくするため修正を行った。情報発信については、ホームページサイトだけではなく、SNS（Facebook、Twitter、Instagram、公式LINEアカウントなど）でも積極的に行った。特にInstagramでは活動の雰囲気が伝わるよう写真のアップを積極的に行ったため、年度当初のフォロワー200人程から531人に増加した。



(2) ニュースレターの発行

まちづくりスポット大津発行ニュースレターいろどり+（プラス）vol.1を発行した。創刊号として、改めてまちづくりスポット大津の紹介やこれまでの取り組み、関係団体へのインタビューなどを掲載し、会員や大津市内のNPO、中間支援組織等に送付した。



(3) 中間支援組織との連携、情報交換

滋賀県内の市民活動団体の動きや相談傾向等の情報交換、その時々テーマに沿った意見交換を行うことを目的として開催している「滋賀県市民活動センター意見交換会（事務局：淡海ネットワークセンター）」にメンバーとして参加した。

- 2020年度開催実績：第1回 2020年9月4日（金） 場所：長浜まちづくりセンター
- 第2回 2020年12月15日（火） 甲賀市まちづくり活動センター（まる一む）
- 第3回 2021年3月3日（水） せき・まちづくりNPOぶうめらんZoom視察

また、まちづくりスポット仙台の呼びかけで、全国のまちづくりスポットとZoomにて意見交換を行った。

- 全国まちスポ情報交換会：第1回 2020年12月3日、第2回 2021年2月19日

6. まちづくりの拠点であるハッシュタグ大津京の運営

(1) ハッシュタグ大津京 シェアスペース・シェアオフィスの運営と利用促進

シェアスペースはハッシュタグ大津京のホームページサイト（大和リースが管理）で会員登録をしていただき、貸し室の申し込みを行うシステムとなっている。2020年4月17日から、新型コロナウイルスによる感染拡大防止のための緊急事態宣言を受け臨時休館をしたが、5月14日再開した。また、2020年10月から朝と夜間、日曜日に無人管理での利用が始まり、休日の利用が増加した。無人管理での利用は事前に暗証番号を発行し、利用者が現地で番号を入力し、入室するシステムとなっているが、事

前に下見に来ていただくなど工夫をして混乱なく運営している。

■ハッシュタグサイト会員登録数推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
2019	/	/	/	/	/	/	/	9	26	17	8	4	64
2020	4	2	2	6	8	10	5	4	11	8	7	10	77

シェアスペース利用者のイベントの告知協力として、ハッシュタグ大津京のサイトへの掲載とともに館内設置のサイネージにて情報発信し、館内利用者に周知をした。(175件：キャンセルされたイベントも含む) 同時に、まちづくりスポット大津のブログやSNSにてイベント情報の拡散を図った。サイネージにて掲出した画像は、施設見学者への参考資料として一周年イベントの前後に一覧にして来館者の目にとまりやすい所に掲示した。



■2020年度来館者推移

	午前 (10時-13時)				午後 (13時-18時)				総計				前年 月計
	合計	男性	女性	子ども	合計	男性	女性	子ども	合計	男性	女性	子ども	
4月	48	27	18	3	118	68	42	8	166	95	60	11	/
5月	62	35	24	3	152	96	40	16	214	131	64	19	/
6月	108	45	46	17	301	138	109	54	409	183	155	71	/
7月	146	58	60	28	282	117	113	52	428	175	173	80	/
8月	241	87	92	62	363	170	132	61	604	257	225	124	/
9月	233	70	106	57	348	126	158	64	581	196	264	121	/
10月	217	63	107	47	337	127	134	76	554	187	241	123	/
11月	154	43	89	22	452	134	187	131	746	212	311	223	466
12月	161	28	80	55	399	167	139	93	560	191	209	136	1,421
1月	157	45	99	13	230	99	112	19	387	144	211	32	508
2月	233	41	156	36	320	123	144	53	553	164	300	89	647
3月	331	57	201	73	533	118	295	110	864	175	507	183	628
合計	2,091	599	1,078	416	3,835	1,483	1,605	737	6,066	2,110	2,720	1,212	3,670

※ オープンは2019年11月29日

ハッシュタグ大津京のシェアオフィスは10ブースあり、うち8ブースの契約があった(2021年3月末現在)。上半期は契約件数が伸びず、様々な方法で広報・利用促進に向けて取り組んだ結果、契約につながったケースもあった。

- a 日常業務で、まちづくりスポット大津を訪れた方に案内
- b ハッシュタグ大津京利用促進のためのチラシを作成、ランチLifeの特集で掲載(ランチ大津京作成)、フリーペーパーへシェアオフィス無料体験クーポンの掲載
- c シェアスペースやシェアオフィスの検索にヒットするよう各種検索エンジンに登録

■2020年度実績：契約者8名

(2) 近江神宮外苑公園グラウンドの利用受付

大和リースが近江神宮外苑公園グラウンドの指定管理者となっていることから、管理業務のうち利用受付をまちづくりスポット大津が担った。具体的には、新規利用者の受付と登録、電話での質問等への対応、インターネット受付・キャンセルへの対応、利用料金の徴収などである。受付の始まった2019年1月当初は認知度が低く利用が少なかったが、徐々に認知が高まり、サッカースクールやラグビー、保育園の運動会等徐々に利用が増えてきている。

■2020年度実績：登録者12名（法人含む）、利用回数114回



7. まちづくりスポット大津組織運営

法人運営のために会員制度を設け、事業や講座、相談等で関わりのある方に入会を呼びかけた。

2020年度正会員：個人27人、団体1団体

2020年度賛助会員：個人12人